タブレットPC

ユーザーマニュアル

TF600T

ASUSは環境に優しい製品・パッケージ作りに取り組んでおり、環境に及ぼす影響を最小限に抑えると同時に、消費者の安全と健康への配慮を行っております。二酸化炭素の排出量削減のため、ユーザーマニュアルのページ数を削減しました。

ユーザーマニュアル完全版および関連情報は、本機に収録のユーザーマニュアル、またはASUSのサポートサイトをご参照ください。
http://support.asus.com/
http://www.asus.co.jp（日本語）

J7510
2012年11月

Copyrightについて

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

(1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
(2) ユーザーの個人情報やデータの損失
(3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または 貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。下のリンクで画面右上の「Global/English」を「Japan/日本語」に選択してください。
http://support.asus.com

もくじ

Chapter 4：ASUSアプリ

本マニュアルについて

このマニュアルには本機のハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1：ハードウェアのセットアップ

本機のハードウェアとコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2：タブレットPCを使用する

本機の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3：Windows® RT環境で使用する

本機でのWindows® RTの使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4：ASUSアプリ

本機に搭載のASUSアプリについての説明が記載されています。

付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要：作業を完了するために従わなければならない事項です。

注：作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告：作業を行う際、人体への危険を避けるため、または本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

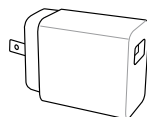
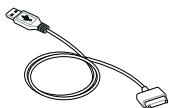
表記

太字	=	選択するメニューや項目を表示します。
< >	=	操作のために押す、キーボード上のキーです。

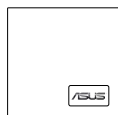
パッケージの内容

注：

- 付属品が足りないときや破損しているときは、お手数ですが販売店様にご連絡ください。
- パッケージの内容はお買い上げの国や地域により異なる場合があります。

タブレットPC

電源アダプター

USBドックケーブル

各取扱説明書と製品保証書

USBドングル

お手入れ用クロス

安全上の注意

本機をお使いの際は

本機は0° ～35° の周囲温度でご使用ください。

入力定格は本機の底部に記載があります。電源アダプターが対応していることを確認してください。

本機のバッテリーが完全に充電されたら、電源アダプターを本機から取り外してください。コンポーネントによっては、長時間の充電により劣化が起こる場合があります。

損傷のある電源コードや周辺機器を使用しないでください。

電源がONのまま本機を持ち運ばないでください。またキャリーバッグに入れたり、カバーをしたりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。

本機を平らでない、不安定な場所に置かないでください。

本機をハードディスクをX線装置（ベルトコンベアー）に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。

多くの航空会社では電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。

タブレットPCのお手入れ

お手入れの際は、電源を切りACアダプターを取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。

本体のお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。

本機の上に物を置いたり落としたりしないでください。

本機に強い磁気を近づけないでください。

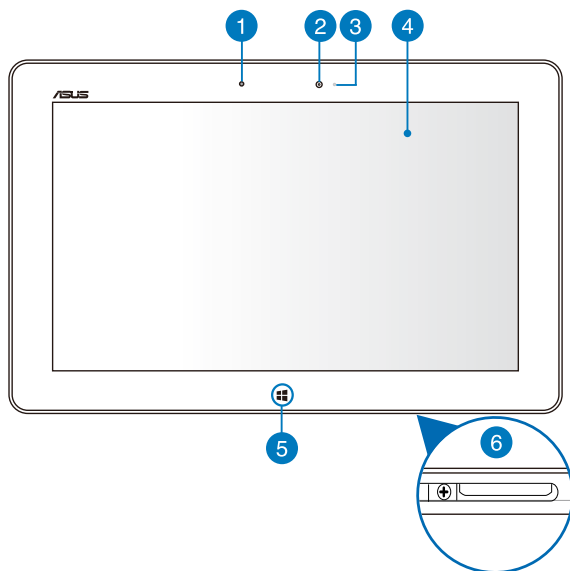
液体・雨・湿気を避けてください。

ホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。

ガス漏れの恐れのある場所で使用しないでください。

Chapter 1:
ハードウェアのセットアップ

製品の概要

前面

1 **光センサー**
周囲の光を検出し、自動的にディスプレイパネルの明るさを調節します。

2 **インカメラ**
本機内蔵の2メガピクセルカメラで、画像の撮影と動画の録画が可能です。

3 **カメラインジケーター**
本機内蔵のカメラ(インカメラ、アウトカメラ)の使用中に点灯します。

4 **タッチスクリーンパネル**
タッチスクリーンパネルを指でなぞることでタッチ操作が可能です。

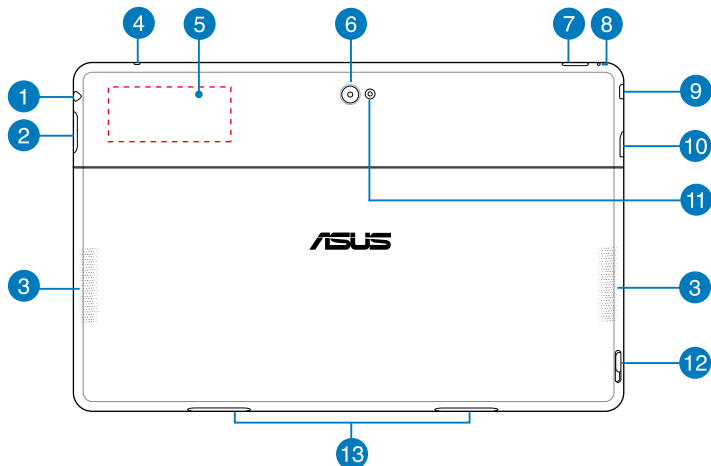
5 Windows® 8 タッチボタン

このボタンを押すとスタート画面に戻ります。スタート画面表示中にこのボタンを押した場合は、最後に使用したアプリに戻ります。

6 ドッキングコネクター

このポートを使用して本機への電源供給とバッテリーの充電を行うことができます。また、付属のUSBドングルを接続し、USB 2.0デバイスを接続することができます。

モバイルキーボードドック (オプション) を接続すると、キーボード、タッチパッド、USB 2.0ポートの各機能がご利用いただけます。

背面

1 ヘッドホン出力/マイク入力コンボジャック

スピーカーやヘッドホンを接続し、本機のオーディオ信号を出力します。このポートにマイクを接続することもできます。

2 音量ボタン

このボタンで音量調整を行うことができます。

3 オーディオスピーカー

本機には内蔵型高品質ステレオスピーカーが搭載されています。

4 マイク

ビデオ会議、ナレーション、簡単な録音などの用途に使用することができます。

5 NFC (Near Field Communication)

NFCは連絡先情報や画像、動画、名刺等のファイルを他のデバイスと共有することができます。NFCを使用するには、本機のNFCを他のNFC対応デバイスにかざします。

⑥ アウトカメラ

本機内蔵の8メガピクセルカメラで、HDレベルの画像の撮影、動画の録画が可能です。

⑦ 電源ボタン

電源ボタンで本機の電源ON、スリープ、休止状態とを切り替えます。スリープ/休止状態でこのボタンを押すとシステムをウェイクアップすることができます。

システムからの応答がないときは、電源ボタンを約8秒間押し続けるとシステムを強制終了することができます。

バッテリー充電インジケーター

電源ボタン上に搭載のデュアルカラーLEDは、その色でバッテリーの充電状態を表示します。

色	状態
ホワイト	完全に充電された状態です。
オレンジ	本機の充電中です。
OFF	電源アダプターが本機に接続されていません。

⑧ リセットホール

システムが応答しなくなった場合は、クリップ等をリセットホールに挿入し、本機を再起動することができます。

警告：システムの強制終了を行うと、プログラムで保存していないデータは失われる場合があります。重要なデータは定期的にバックアップを取ることをお勧めします。

⑨ microHDMIポート

microHDMI（High-Definition Multimedia Interface）対応デバイスを接続します。著作権保護技術の1つであるHDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）にも対応していますので、HD DVD、Blu-ray等の著作権保護コンテンツの再生も可能です。

⑩ microSDカードスロット

本製品には数種類のフラッシュメモリーカード（microSD、microSDHC）を書き込み、読み取ることのできる高速のカードリーダーが内蔵されています。

⑪ カメラLEDフラッシュ

写真・動画撮影用のフラッシュです。逆光があるとき等にご使用ください。

⑫ モバイルキーボードドック ラッチ

このラッチを下にスライドすることにより、本機をモバイルキーボードドックから取り外すことができます。

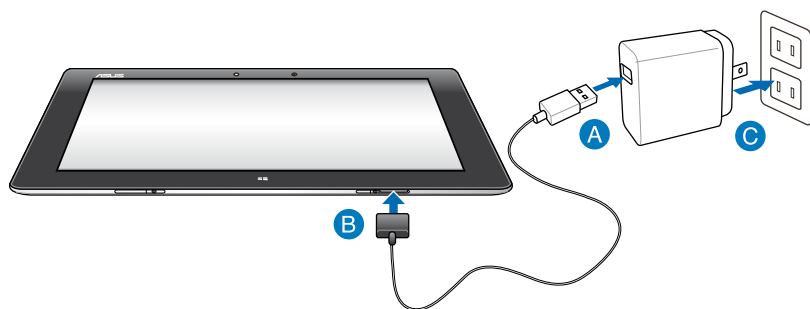
⑬ ヒンジホール

ラッチフックの位置を確認しながらホールに入れ、タブレットPCをモバイルキーボードドックに接続します。

Chapter 2:
本機をお使いの際は

本機のセットアップ

本機の充電

手順

Ⓐ USBドックケーブルを電源アダプターに接続します。

Ⓑ 36ピンコネクターを本機に接続します。

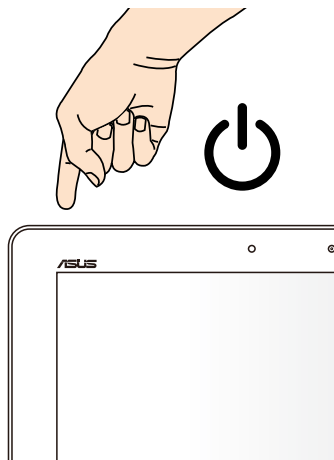
Ⓒ 電源アダプターを電源コンセントに接続します。

重要：

- 必ず付属の電源アダプターとUSBドックケーブルを使用して本機を充電してください。それ以外の電源アダプターを使用した場合、本機の故障の原因となります。
- 36ピンコネクター側をしっかり本機に接続してください。
- 電源アダプターを電源コンセントに接続する際は、入力定格が適切かどうかをご確認ください。アダプターの出力電圧は DC5V、2Aです。
- 本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
- 初めてバッテリーを使用する場合は、バッテリーを完全に充電してからご使用ください（約8時間）。バッテリーの寿命を延ばすことに繋がります。

本機の電源をONにする

手順

電源ボタンを押します。

タブレットPCの基本操作

タッチ操作を行うことで、プログラムの起動や本機の設定画面を開くことができます。タッチ操作は本機のタッチパネル上で行い、各機能を有効にすることができます。

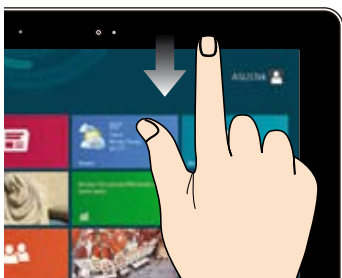
タッチ操作

左側からなぞる

左側からなぞり、起動中のアプリを切り替えます。

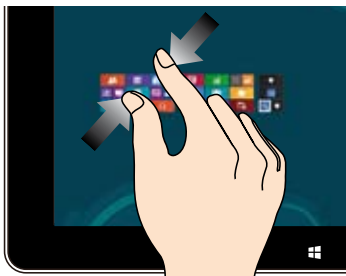
右側からなぞる

右側からなぞり、チャームバーを起動します。

上側からなぞる

- スタート画面で上側からなぞると、すべてのアプリバーが起動します。
- 起動中のアプリを上側からなぞると、メニューが表示されます。

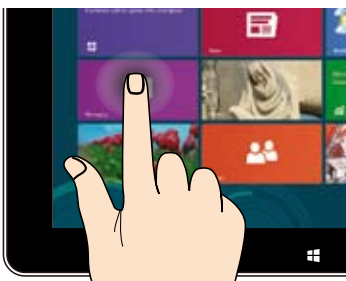
指でのスライド

指を上下に移動すると上下方向へのスクロール、左右に移動すると前後の画面が切り替わります。

ズームアウト

タッチパネル上で2本の指先の間隔を狭めます。

ズームイン

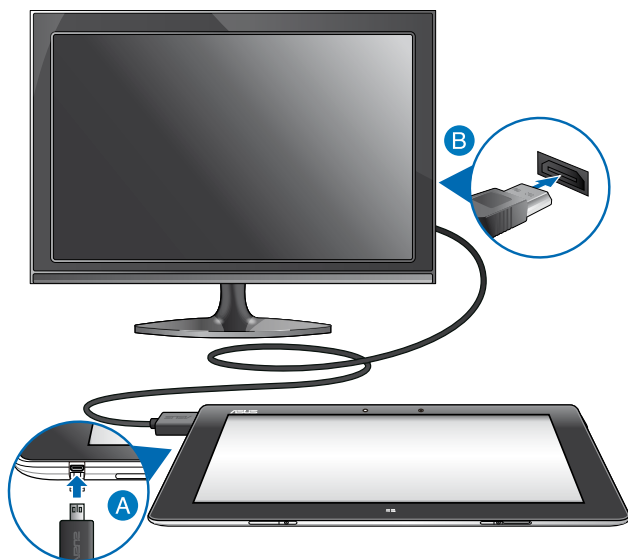
タッチパネル上で2本の指先の間隔を広げます。

タップ・アンド・ホールド

- アプリを移動するには、アプリタイルをタップしたまま移動先までドラッグします。
- アプリを閉じるには、アプリの上側をタップしたまま、画面の下側までドッグします。

タップ/ダブルタップ

- アプリを起動するには、アプリをタップします。
- デスクトップモードでアプリをダブルタップすると、そのアプリが起動します。

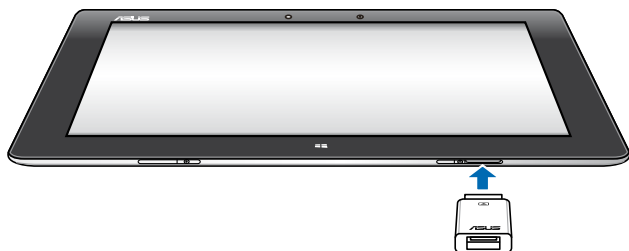
HDMI対応ディスプレイの接続

手順

Ⓐ microHDMIコネクターをタブレットPCのHDMIポートに接続します。

Ⓑ HDMIケーブルをHDMI対応ディスプレイのHDMIポートに接続します。

USBドングルを使用する

本機に接続したUSBドングルを介して、外付けUSBデバイスを本機に接続することができます。USBドングルにはフラッシュメモリーや外付けHDD、外付けUSBスピーカーやマウス、キーボード等のUSBデバイスを接続することができます。

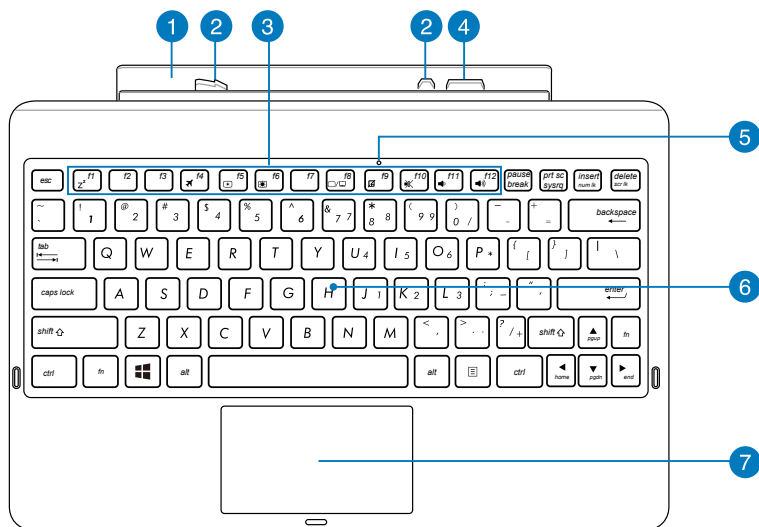
手順

A.　付属のUSBドングルのコネクターを本機のドックポートに接続します。

B.　USBデバイスをUSBドングルのUSBポートに接続します。

重要：USBドングル（36ピン）をしっかり本機に接続してください。

モバイルキーボードドックの使用 (オプション)

製品の概要

上面

1 **ヒンジ**

タブレットPCとモバイルキーボードドックをドッキングするためのヒンジです。

2 **ラッチフック**

タブレットPCをモバイルキーボードドックに固定します。

3 **Functionキー**

タブレットPCでの様々なタスクを実行します。

注：詳細はセクション「Functionキー」をご参照ください。

4 ドッキングコネクター

モバイルキーボードドックに本機をドッキングすることで、従来のノートパソコンのように機能させることが可能です。接続時は標準QWERTYキーボードとUSB 2.0接続を利用することができます。

5 タッチパッドインジケーター

点灯時はモバイルキーボードドックのタッチパッドが無効になっています。

6 キーボード

QWERTY配列のキーボードには十分なストロークを持たせてあり、パームレストが付いているため快適な操作が可能です。また、Functionキー<Fn>でのコマンドの実行や、Windows®へのクイックアクセス、その他マルチメディア機能の操作も可能です。

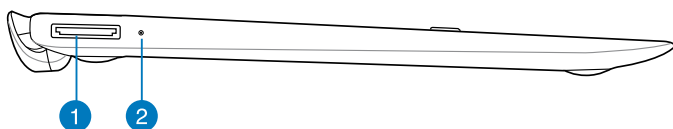
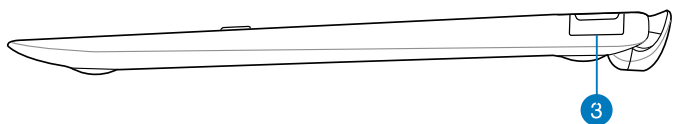
注：キーボードのレイアウトはお買い上げの地域により異なります。

7 タッチパッド

タッチパネルを指でなぞることでタッチ操作が可能です。タッチパッドはマウスと同等の機能を提供するポインティングデバイスです。

注：詳細はセクション「タッチパッドの使用」をご参照ください。

左側

右側

❶ **USBドックポート**

このジャックに電源アダプターに接続したUSBドックケーブルを接続し、本機への電源供給およびバッテリーを充電します。

❷ **バッテリー充電インジケーター**

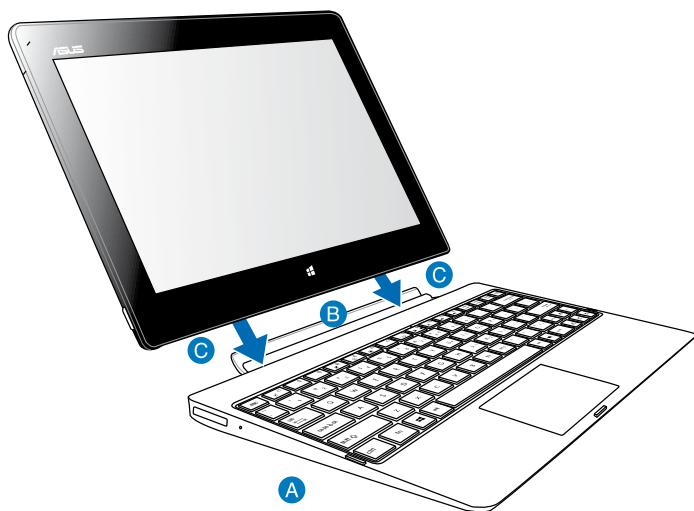
デュアルカラーLEDは、その色でバッテリーの充電状態を表示します。

表示内容は次のとおりです。

色	状態
ホワイト	完全に充電された状態です。
オレンジ	本機の充電中です。
OFF	電源アダプターがモバイルキーボードドックに接続されていません。

❸ **USB 2.0ポート**

USBポートはUSB2.0とUSB1.1の互換仕様となっており、ポインティングデバイス、フラッシュドライブ、外付けHDD等が接続できます。

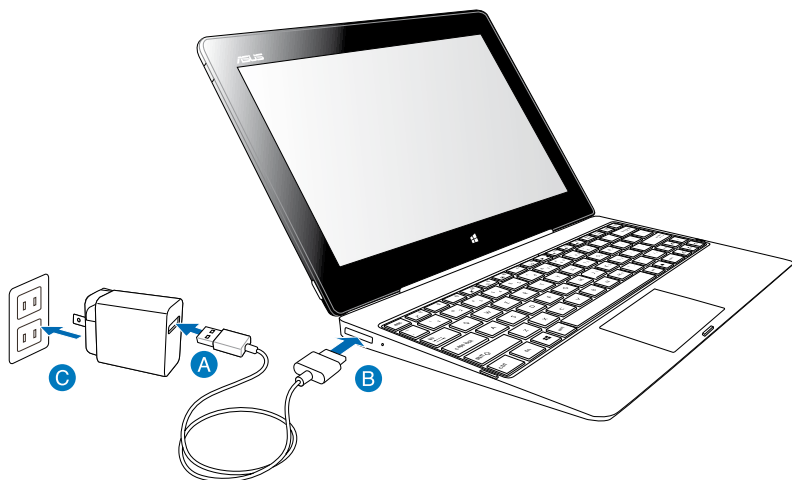
タブレットPCへのドッキング

手順

Ⓐ モバイルキーボードドックを平らで安定した場所に置きます。

Ⓑ タブレットPCとモバイルキーボードドックの位置を合わせます。

Ⓒ タブレットPCをヒンジにしっかり挿入します。正しくドッキングすると、タブレットPCは振動します。

重要: タブレットPCにモバイルキーボードドックが装着されているときは、底面を手で支えて持ち運んでください。

タブレットPCをモバイルキーボードドックで充電する

手順

Ⓐ USBドックコネクターを電源アダプターに接続します。

Ⓑ 36ピンUSBコネクターをドックポートに接続します。

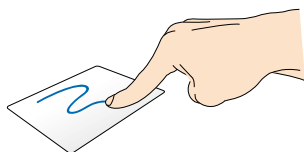
Ⓒ 電源アダプターを電源コンセントに接続します。

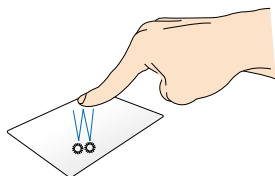
重要：

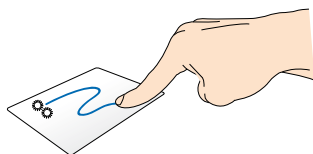
- タブレットPCおよびモバイルキーボードドック単体での充電の際も、付属の電源アダプター(TF600 Series)とUSBドックケーブルをご使用ください。本機付属のアダプター以外は使用しないでください。本機の故障の原因となります。
- 36ピンUSBコネクターをしっかりモバイルキーボードドック接続してください。
- 電源アダプターを電源コンセントに接続する際は、入力定格が適切かどうかをご確認ください。アダプターの出力電圧は DC5V、2Aです。
- 本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
- 初めてバッテリーを使用する場合は、バッテリーを完全に充電してからご使用ください（約8時間）。バッテリーの寿命を延ばすことに繋がります。

タッチパッドの使用

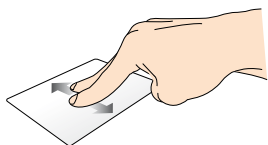
指を1本使用するタッチパッド操作

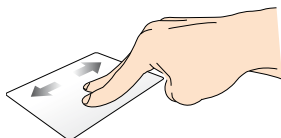
指でのスライド

タッチパッド上で指を移動してポインターを操作します。

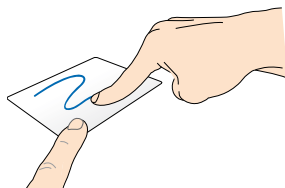
タップ/ダブルタップ

- スタート画面でアプリをタップすると、そのアプリが起動します。
- デスクトップモードでダブルタップすると、そのアイテムが起動します。

ドラッグ＆ドロップ

項目をダブルタップし、そのままスライドします。項目を移動したい場所まで移動し、タッチパッド上から指を離します。

指2本での操作

指2本でのスクロール(上下)

タッチパッド上で指2本を上下に移動します。

指2本でのスクロール(左右)

タッチパッド上で指2本を左右に移動します。

ドラッグ&ドロップ

項目を選択し、左ボタンを長押しします。タッチパッド上で他の指を下方向にスライドさせ、項目をドラッグ&ドロップします。

Functionキー

モバイルキーボードドックのFunctionキーはスタート画面やデスクトップモードでの操作を行います。

注：モバイルキーボードドックのキーボードのレイアウトはお買い上げの国や地域により異なりますが、機能は同じです。

fn + f1　タブレットPCをスリープ状態にします。

fn + f4　機内モードのON/OFFを切り替えます。

注：機内モードをONにすると、無線接続は全て無効になります。

fn + f5　ディスプレイの輝度を下げます。

fn + f6　ディスプレイの輝度を上げます。

fn + f8　外付けディスプレイの設定を行います。

注：タブレットPCに外付けディスプレイを接続してから設定を行ってください。

fn + f9　タッチパッドの有効/無効を切り替えます。

注：このキーのインジケーターはタッチパッドが無効の時に点灯します。

Windows® 8 キー

モバイルキーボードドックには以下の説明のように、2つの特別なWindows®キーがあります。

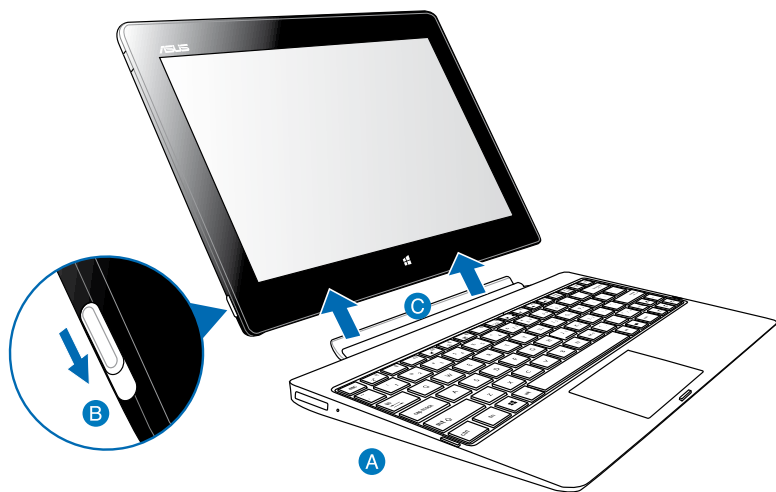
このキーを押すとスタート画面に戻ります。スタート画面表示中にこのキーを押した場合は、最後に使用したアプリに戻ります。

- スタート画面でアプリを選択しこのキーを押すと設定バーが起動します。

注：矢印キーでアプリを選択します。

- デスクトップモードではこのキーを押すと、右クリックと同じ操作を行います。

タブレットPCのドッキング解除

手順

Ⓐ タブレットPCとモバイルキーボードドックを平らで安定した場所に置きます。

Ⓑ ラッチを下にスライドすることにより、タブレットPCをモバイルキーボードドックから取り外すことができます。

Ⓒ タブレットPCをモバイルキーボードドックから取り外します。

Chapter 3:
Windows® RT環境で使用する

初めて使用する

本機を初めて起動するときは、Windows® RTのセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って、セットアップを実行してください。

手順

1. 本機の電源をONにします。
2. ライセンス条項を読みます。「**Windows を使うためのライセンス条項に同意します**」にチェックを入れ、「**同意する**」をタップします。
3. 画面上の指示に従い、次の基本設定を行います。
    - パーソナライズ
    - 設定
4. 基本設定が完了すると、Windows® RTビデオチュートリアルが表示されます。Windows® RTの各機能を学ぶことができます。
5. ユーザーアカウントにサインインし、スタートアプリ画面を開きます。

Windows®RTロック画面

Windows®RTのロック画面は、OS起動時、スリープモード、休止状態からの復帰時に表示されます。ロック画面を上にスライドさせると、ログオン画面が表示されます。

Windows® UI

Windows® RTアプリはWindows®RTで使用されるタイル表示のユーザーインターフェースで、スタート画面から簡単にアクセス可能です。次の各機能を利用することができます。

スタート画面

Windows® RTにサインイン後に表示され、使用したいプログラムを一括表示することができます。

Windows® アプリ

これらの表示するアプリはお好みに応じ、カスタマイズすることが可能です。各アプリはそれぞれ特殊な機能を備えており、ネットワーク接続を通じて使用・共有が可能なものもあります。

注：特定のアプリはその機能を十分活用するため、Microsoftアカウントでのサインインが必要になる場合があります。

Windows® アプリでの操作

アプリのカスタマイズ

スタート画面では、アプリのサイズ変更やピン留め・ピン留めの解除が可能です。

アプリのサイズ変更

手順

1. アプリタイルを下方向になぞり、設定バーを起動します。
2. 「**小さくする**」 、または「**大きくする**」 をタップします。

ピンの解除

手順

1. アプリタイルを下方向になぞり、設定バーを起動します。
2. 「**スタート画面からピン留めを外す**」 をタップします。

すべてのアプリへのアクセス

アプリ画面の起動

手順

1. 画面の上側/下側からなぞり、すべてのアプリバーを起動します。
2. 「**すべてのアプリ**」 をタップし、本機にインストールされたアプリを全て表示します。

スタート画面にピン留めするアプリの追加

手順

1. アプリ画面でアプリを下方向になぞり、設定バーを起動します。
2. 「**スタート画面にピン留めする**」 をタップし、選択したアプリをスタート画面に追加します。

チャームバー

チャームバーは画面右側に表示されるツールバーです。アプリケーションの共有などの操作や、本機のカスタマイズ設定へ簡単にアクセスすることができます。

チャームバーの起動

注：チャームバーは起動すると、記載の画面のように表示されます。

チャームバーは、指を画面上の右側から移動すると起動します。

本機をモバイルキーボードドック（オプション）にドッキングした状態では、マウスのポインターを画面右上もしくは右下に移動する、または⊞+Cを押しても起動することができます。

チャームバーのコンテンツ

検索

本機内のファイルやアプリケーション、プログラムを検索します。

共有

ソーシャルネットワークサービス（SNS）やメールなどを使用し、アプリケーションを共有します。

スタート

画面をスタート画面に戻します。スタート画面から使用していたアプリに戻ることもできます。

デバイス

外付けモニターやプリンター等、本機と接続したデバイスに関する操作を行います。

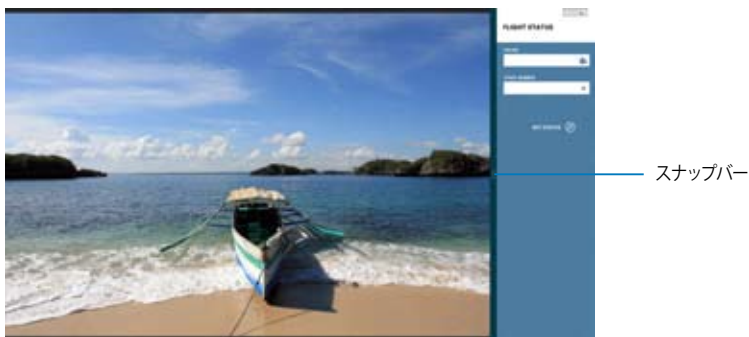
設定

本機の各種設定を行います。

注：モバイルキーボードドック（オプション）に最新のWindows®の更新を適用するには、Windows® 更新の通知が表示されたときにタブレットPCをモバイルキーボードドックに接続してください。

スナップ機能

2つのアプリケーションを同時に操作することができます。

重要：スナップ機能を使用する際は、画面解像度を1366×768に設定してください。

スナップを有効にする

次のいずれかの方法でスナップ機能を有効にします。

1. アプリを起動します。
2. アプリの上の部分をタップしたまま、スナップバーが表示されるまで画面の左側または右側までドラッグします。
3. 他のアプリを起動します。

本機をモバイルキーボードドック (オプション) にドッキングした状態では、次の手順でスナップを有効にすることができます。

タッチパッドを使用する

手順

1. アプリを起動します。
2. マウスのポインターを画面の上側に移動します。
3. ポインターが手のアイコンに切り替わったら、アプリをディスプレイパネルの左側/右側にドラッグ&ドロップします。
4. 他のアプリを起動します。

キーボードを使用する

手順

1. アプリを起動します。
2. [Windows]+[>.]を押します。
3. 他のアプリを起動します。

インターネットへの接続

タブレットPCに搭載のWi-Fi機能により、メールボックスへのアクセス、インターネットサーフィン、ソーシャルネットワークサイトのアプリの共有が可能です。

重要: Wi-Fi機能を使用する際は、フライトモードをOFFにする必要があります。

Wi-Fiを有効にする

手順

1. チャームバーを起動します。
2. 「**設定**」 をタップし、「**利用可能**」 をタップします。
3. 利用可能なWi-Fi接続のリストからアクセスポイントを1つタップして選択し、「**接続**」をタップします。
4. パスワードの入力を求められたら、パスワードを入力し、「**次へ**」をタップします。
5. タブレットPCと他の無線システムとで接続を共有する場合は、「**はい、共有をオンにしてデバイスに接続します**」をタップします。共有しない場合は「**いいえ、共有をオンにせずデバイスに接続しません**」をタップします。

航空機内での使用について

機内モードを有効にすると無線接続は無効になります。

注: 多くの航空会社では電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。

機内モードの切り替え

手順

1. チャームバーを起動します。
2. 「**設定**」 をタップし「**機内モード**」 をタップします。
3. スライドバーを左に移動するとOFFに、スライドバーを右に移動するとONになります。

Internet Explorer 10

Internet Explorer 10 (IE10) はより直感的に設計され、お気に入りサイトの共有やウェブページの閲覧が高速化され、セキュリティが強化されています。

注：IE10を使用するにはインターネット接続が必要です。

IE10の使用

手順

1. スタート画面で をタップします。
2. アドレスバーにアドレスを入力し、 をタップします。

タブの追加と削除

タブは閲覧中のウェブページがメニューバーにサムネイル形式で表示されたものです。

タブを追加する

1. IE 10の画面の上側/下側からなぞり、メニューバーを表示します。
2. をタップします。
3. アドレスバーにアドレスを入力し、をタップします。

タブを閉じる

1. IE 10の画面の上側/下側からなぞり、メニューバーを表示します。
2. 閉じるタブのをタップします。
3. 全てのタブを閉じる場合は、をタップします。

注：この操作を行うと、現在閲覧中のウェブページ以外の全てのタブが閉じます。

すべてを削除してWindowsを再インストールする

PC設定の「**すべてを削除してWindowsを再インストールする**」オプションで、本機を工場出荷時の設定にリセットすることができます。次の手順でこのオプションを有効にします。

重要：このオプションを有効にする際は、事前にデータのバックアップを行ってください。

注：タスク完了まで暫く時間がかかります。

1. チャームバーを起動します。
2. 「**設定**」→「**PC設定の変更**」→「**全般**」の順にクリックします。
3. 「**すべてを削除してWindowsを再インストールする**」オプションを下方向にスクロールし、「**開始する**」をクリックします。

4. 画面上の指示に従ってリセットを完了します。

本機の電源をOFFにする

次のいずれかの手順で本機の電源をOFFにします。

- チャームバーから「**設定**」 をタップし、 をタップします。続いて「**シャットダウン**」をタップします。
- ログイン画面から をタップし、「**シャットダウン**」をタップします。
- システムからの応答がないときは、電源ボタンを約8秒間押し続けるとシステムを強制終了することができます。

本機をスリープモードにする

電源ボタンを1度押します。

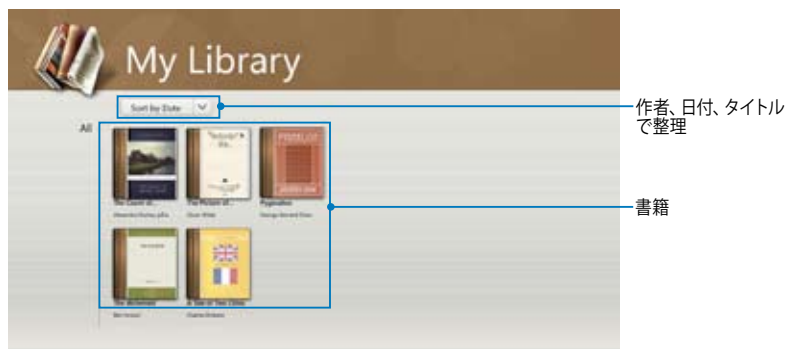
Chapter 4: ASUSアプリ

お勧めのASUSアプリ

My Library

書籍を管理するための多機能インターフェースです。タイトルや作者、日付で書籍の整理することができます。

注：MyLibraryがサポートする書籍のファイル形式は「ePub」のみです。

My Library メイン画面

書籍のインポート

次の手順で書籍を本棚にインポートします。

1. 画面の上側/下側からなぞり、設定バーを表示します。
2. をタップした後「**ファイル**」をタップし、追加する書籍を参照します。

3.　追加する書籍をタップし「**開く**」をタップします。

書籍の閲覧

右ページをタップまたはなぞると次項へ進み、左ページをタップまたはなぞると前項へ戻ります。

ブックマークの挿入

ブックマーク機能を使用すれば、最後に読んだページを簡単に開くことができます。

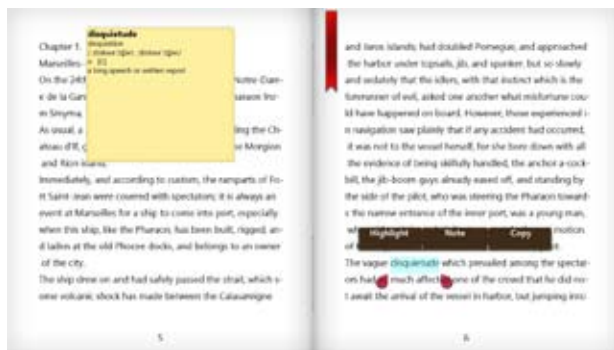
手順

1. 書籍の上側/下側からなぞり、設定バーを表示します。

2. をタップし、ページにブックマークを挿入します。ブックマークは複数ページに挿入することができます。

3. ブックマークを挿入したページを参照するには をタップし、開きたいページをタップします。

メモの挿入

メモ機能では、単語の意味の挿入、単語やフレーズのコピー、メモのメールでの共有、単語の翻訳等の機能を利用することができます。

手順

1. ツールメニューと辞書が表示されるまで、使用する単語または文章を長押しします。

注：フレーズをマークするには、単語を長押ししたままスライドします。フレーズを選択した場合、辞書は表示されません。

2. 「**ハイライト**」をタップし単語またはフレーズをマークします。「**メモ**」をタップし選択した単語またはフレーズを記録します。「**コピー**」をタップし選択した単語またはフレーズをコピーし、テキストアプリに貼り付けることができます。

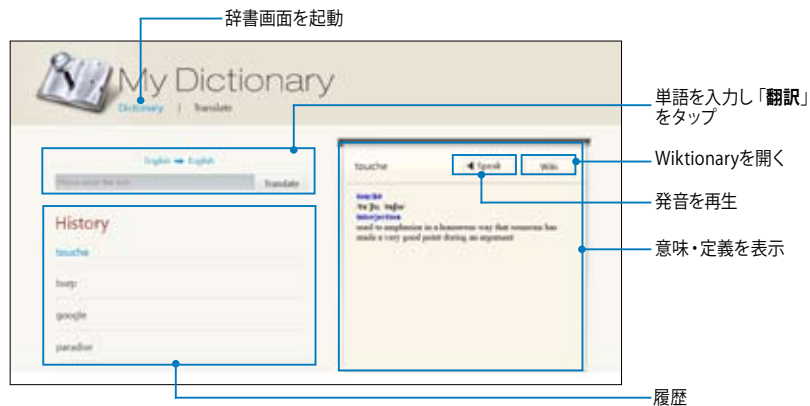
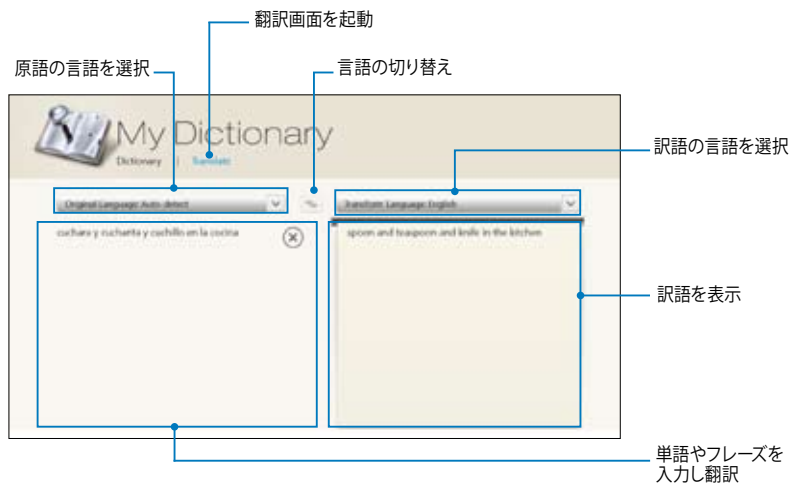
注：

- 単語やフレーズを翻訳するには、「**ハイライト**」をタップしハイライトした単語またはフレーズをタップし、「**翻訳**」をタップした後、希望の言語を選択します。
- 単語やフレーズを共有するには「**共有**」をタップし、共有したいアプリを選択します。

3. メモを保存したページを参照するには、をタップしメモをタップして開きます。

MyDictionary

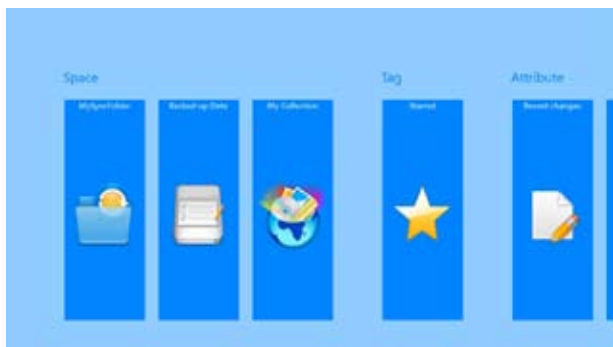
単語やフレーズの意味や発音、訳語を知ることができます。

辞書画面

翻訳画面

ASUS WebStorage

ASUS WebStorageはオンラインストレージスペースです。時間と場所を選ばずファイルへのアクセスやファイルの同期、ファイルの共有や保存が可能です。このアプリではメモの作成、画像や動画の撮影、音声メッセージの作成が可能です。また作成したコンテンツをWebStorageに簡単に保存できます。

注：

- このアプリの使用にはASUS WebStorageアカウントが必要となります。お持ちでない場合はアカウントを作成してください。
- ASUS Webstorageへのアクセスはインターネット接続が必要です。
- 最新のASUS WebStorage PC Suiteをシステムにインストールしてください。詳細は弊社オフィシャルサイトをご参照ください。
http://www.asuswebstorage.com

ASUS WebStorage メイン画面

ASUS WebStorageを使用する

ASUS WebStorageには次の各フォルダーが含まれています。

MySyncFolder

タブレットPCを通じてコンピューターと同期するファイルへのアクセス、ファイルの共有と変更を行うことができます。変更・保存したファイルは同期するコンピューターに適用されます。

MySyncFolderでは、メモの作成や画像や動画の撮影、録音が可能で、このフォルダーに直接アップロードすることができます。

MySyncFolderへのファイルのアップロード

手順

1. をタップし、MySyncFolderを起動します。
2. 画面の上側/下側からなぞり、設定バーを起動します。
3. をタップし、MySyncFolderにアップロードするファイルを選択します。

MySyncFolderへのファイルの追加

手順

1. 画面の上側/下側からなぞり、設定バーを起動します。
2. をタップし、操作を選択します。
   a. 「**筆記**」をタップしメモを取ります。
   b. 「**スナップショット**」をタップし写真を撮影します。
   c. 「**ビデオ録画**」をタップし動画を撮ります。
   d. 「**録音**」をタップし録音します。
3. ファイル名を入力し「**保存**」をタップします。保存したファイルは自動的にMySyncFolderにアップロードされます。

MySyncFolderからのコンテンツの削除

手順

1. ファイルまたはフォルダーを下方向になぞり、設定バーを起動します。
2. をタップし、選択したファイルまたはフォルダーを削除し「**OK**」をタップします。

MySyncFolder内のコンテンツのカスタマイズ

名前変更やお気に入りタグの付与、メールやASUS WebStorageでの共有など、このフォルダー内のコンテンツをカスタマイズすることができます。

手順

1. ファイルまたはフォルダーを下方向になぞり、設定バーを起動します。
2. ファイルの名前変更はをタップし、新しいファイル名を入力しをタップします。
3. お気に入りに追加するにはをタップします。

注：お気に入りに追加すると、ファイルまたはフォルダーの左上に星アイコンが表示されます。

4. メールまたはリンクで共有するにはをタップし、メールで共有するには、リンクで共有するにはをタップします。

注：

- メールでのコンテンツ共有には、Microsoftアカウントが必要となります。
- お気に入りに設定したファイルは星印付フォルダー、リンクで共有したファイルはマイ共有リンクフォルダーに自動的に追加されます。
- ファイルまたはフォルダーのマークと共有は同時に行うことができます。

バックアップ済みデータ

このフォルダーではコンピューターからバックアップしたファイルを開くことができます。また、ファイルへのお気に入りタグの付与、ASUS WebStorageサイトのリンクまたはメール経由での共有が可能です。

注：

- ASUS WebStorageはコンピューター名を登録し、バックアップしたデータをバックアップ済みデータフォルダーに反映します。
- バックアップコンテンツのパスと名前は、コンピューター内のコンテンツのものと同じです。
- 複数のコンピューターのファイルをバックアップする、またはストレージ容量を増やす場合は、弊社サイトでWebStorageのオプションプランをご購入ください。詳細はhttps://service.asuswebstorage.com/storeでご確認ください。

バックアップ済みデータ内でのコンテンツへのタグの付与と共有

ファイルやフォルダーへタグを付ける、メールやASUS WebStorageサイト経由でリンクすることができます。

手順

1. をタップし、「**バックアップ済みデータ**」フォルダーを起動します。
2. ファイルまたはフォルダーを下方向になぞり、設定バーを起動します。
3. をタップしファイルまたはフォルダーにお気に入りタグを付け、をタップしASUS WebStorageサイトのリンクで共有します。

注：

- メールでのコンテンツ共有には、Microsoftアカウントが必要となります。
- ファイルまたはフォルダーのマークと共有は同時に行うことができます。
- お気に入りに設定したファイルは星印付フォルダー、リンクで共有したファイルはマイ共有リンクフォルダーに自動的に追加されます。

マイ コレクション

このフォルダーではお気に入りコンテンツをアップロードすることができます。他のコンピューターとの同期は不要です。また、メモの作成や画像や動画の撮影、録音が可能で、このフォルダーに直接アップロードすることができます。

ファイルのアップロード

手順

1. をタップし、「**マイ コレクション**」フォルダーを起動します。
2. をタップし、アップロードするファイルを選択します。
3. 「**開く**」をタップしファイルをマイ コレクションフォルダーにアップロードします。

マイ コレクションフォルダーへのファイルの追加

手順

1. 画面の上側/下側からなぞり、設定バーを起動します。
2. をタップし、操作を選択します。
   a. 「**筆記**」をタップしメモを取ります。
   b. 「**スナップショット**」をタップし写真を撮影します。
   c. 「**ビデオ録画**」をタップし動画を撮ります。
   d. 「**録音**」をタップし録音します。
3. ファイル名を入力し「**保存**」をタップします。保存したファイルは自動的にマイ コレクションフォルダーにアップロードされます。

マイ コレクションフォルダーからのコンテンツの削除

手順

1. ファイルまたはフォルダーを下方向になぞり、設定バーを起動します。
2. をタップし、選択したファイルまたはフォルダーを削除し「**OK**」をタップします。

マイ コレクションフォルダー内のコンテンツのカスタマイズ

名前変更やお気に入りタグの付与、メールやASUS WebStorageでの共有など、このフォルダー内のコンテンツをカスタマイズすることができます。

手順

1. ファイルまたはフォルダーを下方向になぞり、設定バーを起動します。
2. ファイルの名前変更は をタップし、新しいファイル名を入力し をタップします。
3. お気に入りに追加するには をタップします。

注：お気に入りに追加すると、ファイルまたはフォルダーの左上に星アイコンが表示されます。

4. メールまたはリンクで共有するには をタップし、メールで共有するには 、リンクで共有するには をタップします。

注：

- メールでのコンテンツ共有には、Microsoftアカウントが必要となります。
- お気に入りに設定したファイルは星印付フォルダー、リンクで共有したファイルはマイ共有リンクフォルダーに自動的に追加されます。
- ファイルまたはフォルダーのマークと共有は同時に行うことができます。

星印付フォルダー

このフォルダーではお気に入りに追加したコンテンツへのアクセスとコンテンツの参照が簡単に行えます。またコンテンツを削除することもできます。

ファイルまたはフォルダーの削除

手順

1. をタップし「**星印付**」フォルダーを起動します。

1. ファイルまたはフォルダーを下方向になぞり、設定バーを起動します。

2. をタップしファイルまたはフォルダーを削除します。

星印付フォルダー内のコンテンツのカスタマイズ

名前変更、メールやASUS WebStorageでの共有など、このフォルダー内のコンテンツをカスタマイズすることができます。

手順

1. ファイルまたはフォルダーを下方向になぞり、設定バーを起動します。

2. ファイルの名前変更はをタップし、新しいファイル名を入力しをタップします。

3. メールまたはリンクで共有するにはをタップし、メールで共有するにはは、リンクで共有するにはをタップします。

注：

- メールでのコンテンツ共有には、Microsoftアカウントが必要となります。
- リンクに設定したファイルはマイ共有リンクフォルダーに自動的に追加されます。

最近の変更

このフォルダーでは**MySyncFolder**、**バックアップ済みデータ**、**マイ コレクション**フォルダーに保存したコンテンツを参照することができます。また、最近使用したコンテンツの名前変更やお気に入りタグの付与、メールやASUS WebStorageでの共有などのカスタマイズが可能です。

注：カスタマイズができるのは**MySyncFolder**と**マイ コレクション**フォルダー内のコンテンツだけです。

最近変更したコンテンツの参照

手順

1. をタップし「**最近の変更**」フォルダーを起動します。
2. 参照するファイルをタップします。
3. をタップしメイン画面に戻ります。

最近の変更フォルダー内のコンテンツのカスタマイズ

名前変更、メールやASUS WebStorageでの共有など、このフォルダー内のコンテンツをカスタマイズすることができます。

手順

1. ファイルを下方向になぞり、設定バーを起動します。
2. ファイルの名前変更はをタップし、新しいファイル名を入力しをタップします。
3. ファイルの削除はをタップし、ファイルまたはフォルダーを選択し「**OK**」をタップします。

   重要：このフォルダーからファイルを削除すると、元の保存場所からも削除されます。削除する際は事前にバックアップを取ってください。

4. お気に入りに追加するにはをタップします。

   注：お気に入りに追加すると、ファイルまたはフォルダーの左上に星アイコンが表示されます。

5. メールまたはリンクで共有するには をタップし、メールで共有するには 、リンクで共有するには をタップします。

注：

- メールでのコンテンツ共有には、Microsoftアカウントが必要となります。
- リンクに設定したファイルはマイ共有リンクフォルダーに自動的に追加されます。
- ファイルまたはフォルダーのマークと共有は同時に行うことができます。

最近のフォト

このフォルダーでは**MySyncFolder**、**バックアップ済みデータ**、**マイ コレクション**フォルダーに保存した画像を参照することができます。また、画像の名前変更や削除、お気に入りタグの付与、メールやASUS WebStorageでの共有などのカスタマイズも可能です。

注：カスタマイズができるのは**MySyncFolder**と**マイ コレクション**フォルダー内の画像だけです。

最近の画像の参照

手順

1. をタップし「**最近のフォト**」フォルダーを起動します。
2. 参照する画像をタップします。更に他の画像を参照するには、画面の上側または下側からなぞり、画像をタップします。
3. をタップしメイン画面に戻ります。

フォトの編集

このフォルダーではフォルダー内の画像の名前変更、メールやASUS WebStorageでの共有などのカスタマイズが可能です。

手順

1. ファイルを下方向になぞり、設定バーを起動します。
2. 画像の名前変更はをタップし、新しいファイル名を入力しをタップします。
3. 画像の削除はをタップし「**OK**」をタップします。

重要：このフォルダーから画像を削除すると、元の保存場所からも削除されます。削除する際は事前にバックアップを取ってください。

4. お気に入りに追加するにはをタップします。

注：お気に入りに追加すると、画像の左上に星アイコンが表示されます。

最近の音楽

このフォルダーでは**バックアップ済みデータ**、**マイ コレクション**フォルダーに保存した音楽ファイルを参照することができます。また、音楽ファイルの名前変更や削除、お気に入りタグの付与、メールやASUS WebStorageでの共有などのカスタマイズも可能です。

注：カスタマイズができるのは**マイ コレクション**フォルダー内の音楽ファイルだけです。

音楽ファイルの参照と再生

手順

1. をタップし「**最近の音楽**」フォルダーを起動します。

注：起動すると画面の右上にプレイリストが表示されます。

2. プレイリストをスクロールし、再生する音楽ファイルをタップします。
3. をタップしメイン画面に戻ります。

音楽ファイルのカスタマイズ

このフォルダーではフォルダー内の音楽ファイルの名前変更、メールやASUS WebStorageでの共有などのカスタマイズが可能です。

手順

1. プレイリストでカスタマイズする音楽ファイルをタップします。

注：選択するとファイルの左側に青いチェックマークが表示されます。

2. ファイルの名前変更はをタップし、新しいファイル名を入力しをタップします。
3. 音楽ファイルの削除はをタップし、「**OK**」をタップします。

重要：このフォルダーから音楽ファイルを削除すると、元の保存場所からも削除されます。削除する際は事前にバックアップを取ってください。

4. お気に入りに追加するにはをタップします。

注：お気に入りに追加すると、音楽ファイルに星アイコンが表示されます。

マイ共有リンク

このフォルダーではASUS WebStorageでリンクしたコンテンツへのアクセスとコンテンツの参照が行えます。

注：カスタマイズができるのは**MySyncFolder**と**マイ コレクション**フォルダー内のリンクだけです。

共有リンクの参照

手順

1. をタップし「**マイ共有リンク**」を起動します。
2. 開きたいファイルまたはフォルダーをタップします。
3. をタップしメイン画面に戻ります。

共有コンテンツのカスタマイズ

名前変更や、メールやASUS WebStorageでの共有など、このフォルダー内の共有コンテンツをカスタマイズすることができます。

手順

1. ファイルを下方向になぞり、設定バーを起動します。
2. ファイルの名前変更は をタップし、新しいファイル名を入力し をタップします。
3. ファイルの削除は をタップし「**OK**」をタップします。

重要：このフォルダーから共有コンテンツを削除すると、元の保存場所からも削除されます。削除する際は事前にバックアップを取ってください。

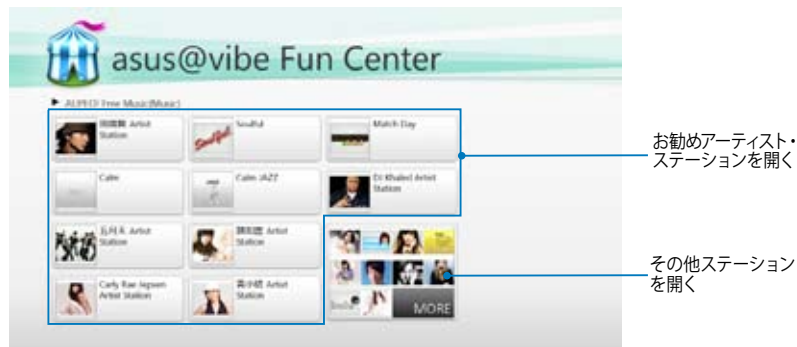
4. お気に入りに追加するには をタップします。

注：お気に入りに追加すると、画像の左上に星アイコンが表示されます。

ASUS @vibe

ASUS @vibeは、お気に入りのラジオ局とアーティストのストーリミングを行う音楽エンターテイメント・プラットフォームです。

注：提供コンテンツは国や地域により異なります。

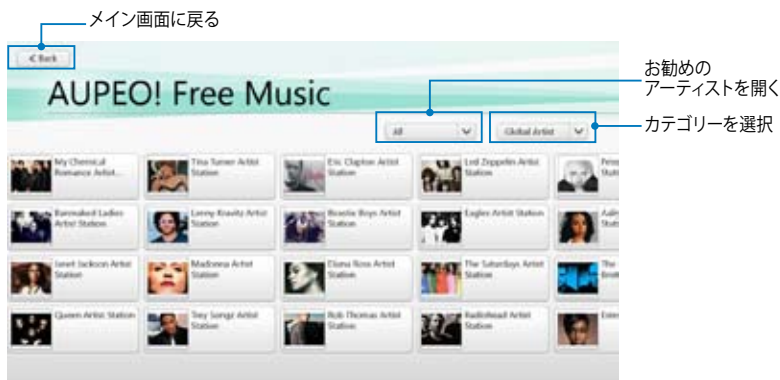
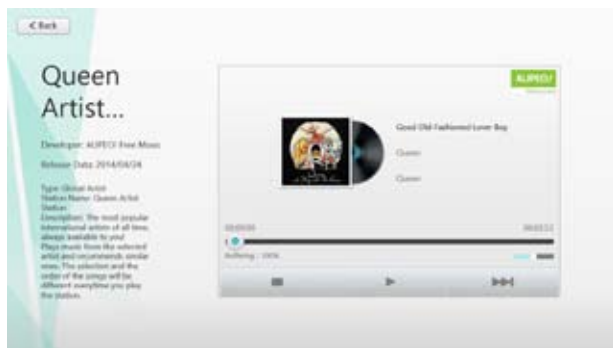
ASUS @vibe メイン画面

@vibeの使用

ASUS @vibeは、AUPEO！Free Music等のインターネット・ラジオステーションが提供する音楽・ラジオコンテンツをストーリミングを行うツールです。

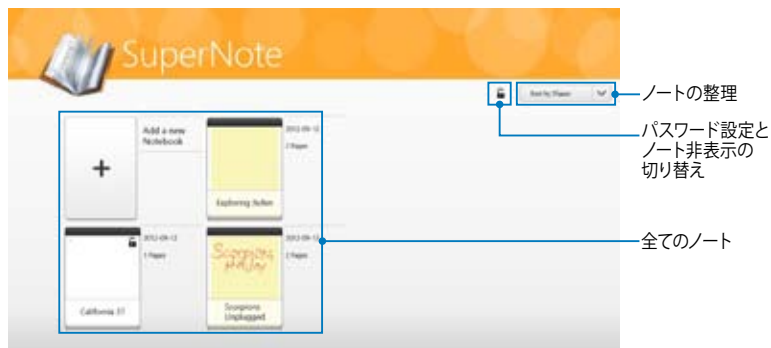
AUPEO! Free Musicの使用

AUPEO! は個人化されたインターネット・ラジオサービスで、お勧めのアーティストやテーマ、ジャンルのストリーミングが可能です。

手順

1. AUPEO ! Free Musicで開きたいアーティストをタップします。
2. 他のアーティストを参照するには「**MORE**」をタップし、画面をスクロールします。

3. 再生する項目をタップします。

SuperNote

SuperNoteではメモや落書き、画像のスクリーンショットや画像の挿入、録音や動画撮影などが簡単に行えます。

SuperNote メイン画面

SuperNoteの使用

SuperNoteには次のモードがあります。 用途に応じてモードを選択してください。
ペイントモード、走り書きモード、キーボードモード

新しいノートの作成

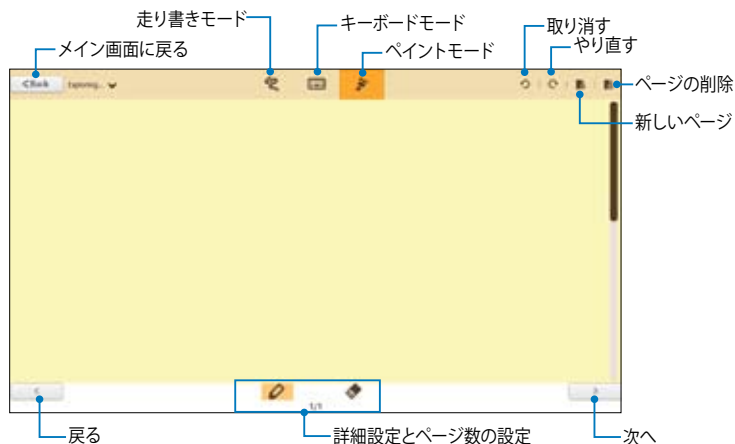
手順

1. 「**新しいノートの追加**」をタップします。

2. ノートの名前を入力し、「ページの色」と「スタイル」でレイアウトを設定します。

注:選択したオプションのレイアウトは画面右で参照することができます。

3. 「**OK**」をタップします。

SuperNoteの新しいノート・インターフェース

注：ペイント/走り書き/キーボードモードをタップすると、モード設定が変わります。

ノートのカスタマイズ

SuperNoteでは様々な効果が用意されています。画面の上側/下側からなぞるとツールバーが起動し、様々なツールでノートをカスタマイズすることができます。

注：ツールバーの設定内容は選択したモードにより異なります。

手順

1. SuperNote メイン画面でカスタマイズするノートをタップします。
2. 画面の上側/下側からなぞり、ツールバーを起動します。
3. テキストイメージやメディアファイルを挿入するには、「**挿入**」をタップしオプションを選択します。

4. テキストの色を選択し「**色**」をタップしオプションから選択します。
5. 「**読み込みのみ**」をタップし、左右にスクロールしてノートの各ページを参照します。

ノートの名前変更

手順

1. SuperNote メイン画面でノートを下方向になぞり、メニューバーを起動します。
2. をタップしノートの名前を変更します。
3. 画面の任意の場所をタップし、新しいファイル名を保存します。

ノートの非表示

手順

1. SuperNote メイン画面でノートを下方向になぞり、メニューバーを起動します。
2. をタップし、「**OK**」をタップします。

注：非表示のノートを参照するにメインは画面の をタップします。

ノートの削除

手順

1. SuperNote メイン画面でノートを下方向になぞり、メニューバーを起動します。
2. をタップし、「**OK**」をタップします。

付録

Federal Communications Commission Statement（原文）

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment causes harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by doing one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

The antenna(s) used for this transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

RF Exposure Information (SAR)（原文）

This device meets the government's requirements for exposure to radio waves. This device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The exposure standard employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the EUT transmitting at the specified power level in different channels.

The highest SAR value for the device as reported to the FCC is 0.558 W/kg when placed next to the body.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of **www.fcc.gov/oet/ea/fccid** after searching on FCC ID: MSQTF600T.

This device is compliance with SAR for general population /uncontrolled exposure limits in ANSI/IEEE C95.1-1999 and had been tested in accordance with the measurement methods and procedures specified in OET Bulletin 65 Supplement C.

Canada, Industry Canada (IC) Notices

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003 and RSS-210.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. The IC ID for this device is 3568A-TF600T.

Radio Frequency (RF) Exposure Information

The radiated output power of the Wireless Device is below the Industry Canada (IC) radio frequency exposure limits. The Wireless Device should be used in such a manner such that the potential for human contact during normal operation is minimized.

This device has been evaluated for and shown compliant with the IC Specific Absorption Rate ("SAR") limits when installed in specific host products operated in portable exposure conditions.

Canada's REL (Radio Equipment List) can be found at the following web address:

http://www.ic.gc.ca/app/sitt.reltel/srch/nwRdSrch.do?lang=eng

Additional Canadian information on RF exposure also can be found at the following web address: **http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html**

Canada, avis d'Industrie Canada (IC)

Cet appareil numérique de classe B est conforme aux normes canadiennes ICES-003 et RSS-210.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes: (1) cet appareil ne doit pas causer d'interférence et (2) cet appareil doit accepter toute interférence, notamment les interférences qui peuvent affecter son fonctionnement. L'identifiant IC de cet appareil est 3568A-TF600T.

Informations concernant l'exposition aux fréquences radio (RF)

La puissance de sortie émise par cet appareil sans fil est inférieure à la limite d'exposition aux fréquences radio d'Industrie Canada (IC). Utilisez l'appareil sans fil de façon à minimiser les contacts humains lors du fonctionnement normal.

Ce périphérique a été évalué et démontré conforme aux limites SAR (Specific Absorption Rate – Taux d'absorption spécifique) d'IC lorsqu'il est installé dans des produits hôtes particuliers qui fonctionnent dans des conditions d'exposition à des appareils portables.

Ce périphérique est homologué pour l'utilisation au Canada. Pour consulter l'entrée correspondant à l'appareil dans la liste d'équipement radio (REL - Radio Equipment List) d' Industrie Canada rendez-vous sur:

http://www.ic.gc.ca/app/sitt.reltel/srch/nwRdSrch.do?lang=eng

Pour des informations supplémentaires concernant l'exposition aux RF au Canada rendez-vous sur : http://www.ic.gc.ca/eic/site/smt-gst.nsf/eng/sf08792.html

聴覚障害を防ぐため

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧は、難聴などの聴覚障害の原因となる場合があります。ボリュームコントロールやイコライザーを基準値以外に設定した場合、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し音圧が高くなることがあります。ご注意ください。

A pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'oreille de l'utilisateur.

CE Mark Warning

CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC “Electromagnetic compatibility” and 2006/95/EC “Low voltage directive”.

CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

The highest CE SAR value for the device is 0.239 W/kg.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm^2 or H05VV-F, 2G, 0.75mm^2.

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピュータ、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

重要：感電などを防ぐため、本機は絶縁処理が施されている筐体を使用しています（入出力ポート搭載部分を除く）。

廃棄・リサイクルについて

バッテリーは製造元が指定する物をご使用ください。それ以外の物を使用した場合、爆発や本機の故障の原因となります。バッテリー廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

禁止：本機のバッテリーを通常ゴミとして廃棄しないでください。廃棄の際は地域の条例等に従ってください。

本機を一般ゴミとして廃棄しないでください。本機はリサイクル可能な設計がされています。廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

本機を火中に投じないでくださいでください。回路をショートさせないでください。本機を分解しないでください。

Manufacturer:	ASUSTeK Computer Inc.
Address:	No.150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN
Authorised representative in Europe:	ASUS Computer GmbH
Address:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN, GERMANY

EC Declaration of Conformity

We, the undersigned,

Manufacturer:	ASUSTek COMPUTER INC.
Address, City:	No. 150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN R.O.C.
Country:	TAIWAN
Authorized representative in Europe:	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City:	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country:	GERMANY

declare the following apparatus:

Product name :	**ASUS Tablet**
Model name :	**TF600T**

conform with the essential requirements of the following directives:

☒**2004/108/EC-EMC Directive**

☒ EN 55022:2010	☒ EN 55024:2010
☒ EN 61000-3-2:2006	☒ EN 61000-3-3:2008
☐ EN 55013:2001+A1:2003+A2:2006	☐ EN 55020:2007+A11:2011

☒**1999/5/EC-R &TTE Directive**

☒ EN 300 328 V1.7.1(2006-10)	☒ EN 301 489-1 V1.9.2(2011-09)
☒ EN 300 330-1 V1.7.1(2010-02)	☒ EN 301 489-3 V1.4.1(2002-08)
☒ EN 300 330-2 V1.5.1(2010-02)	☐ EN 301 489-4 V1.3.1(2002-08)
☒ EN 300 440-1 V1.6.1(2010-08)	☐ EN 301 489-7 V1.3.1(2005-11)
☒ EN 300 440-2 V1.4.1(2010-08)	☐ EN 301 489-9 V1.4.1(2007-11)
☐ EN 301 511 V9.0.2(2003-03)	☒ EN 301 489-17 V2.1.1(2009-05)
☐ EN 301 908-1 V4.2.1(2010-03)	☐ EN 301 489-24 V1.5.1(2010-10)
☐ EN 301 908-2 V3.2.1(2007-05)	☐ EN 302 326-2 V1.2.2(2007-06)
☐ EN 301 893 V1.4.1(2005-03)	☐ EN 302 326-3 V1.3.1(2007-09)
☐ EN 302 544-2 V1.1.1(2009-01)	☐ EN 301 357-2 V1.3.1(2006-05)
☒ EN 62311:2008	☐ EN 302 623 V1.1.1(2009-01)

☒**2006/95/EC-LVD Directive**

☐ EN 60950-1 / A11:2009	☐ EN 60065:2002+A1:2006+A11:2008
☒ EN 60950-1 / A12:2011	☐ EN 60065:2002 / A12:2011

☒**2009/125/EC-ErP Directive**

Regulation (EC) No. 1275/2008	Regulation (EC) No. 278/2009
☒ EN 62301:2005	☒ EN 62301:2005
Regulation (EC) No. 642/2009	
☐ EN 62301:2005	Ver. 120601

☒**CE marking**

(EC conformity marking)

Position : **CEO**

Name : **Jerry Shen**

Declaration Date: Aug. 15, 2012

Year to begin affixing CE marking:2012

Signature : __________